

大東文化大学経営研究所 2023 共同シンポジウム グローバル経営の明日を拓く

～外国人とともに働く職場の未来～

令和5年12月16日土曜日

13:00～17:00 (入場料無料)

場所 大東文化会館ホール (東武東上線東武練馬駅徒歩2分)

プログラム 開 場: 12:30
開 会: 13:00
基調講演: 13:05 45分
川村千鶴子「多文化共創経営の道を拓く～ライフサイクルと社会統合政策」
講演 I～III: 13:55 各30分
講演者: チョウ チョウ ソー、村元 エリカ マリア、バト デリガル
パネルディスカッション: 15:35
「テーマ: 国際労働移動とグローバル経営」
パネラー 川村千鶴子、チョウ チョウ ソー、村元 エリカ マリア、
万城目正雄、井上健、バト デリガル
モデレーター 白井康之
閉 会: 17:00



川村千鶴子 Ph.D
大東文化大学名誉教授
博士(学術、総合研究大学院大学)。
多文化社会研究会理事長。東アジア経営学会国際連合産業部会。NPO法人太平洋協力機構顧問。

慶應義塾大学商学部とオハイオ州立大学で経営学を学び、多文化教育研究所長、大東文化大学環境創造学部教授、同学部長、移民政策学会理事などを歴任。「多文化社会」「移民政策」「キャリア形成と人生」担当。経済産業省中小企業庁委託。「企業におけるCSR・人権担当者向け実践講座」などを担当。専門は国際労働移動と社会統合政策。主な編著書に『多文化教育を拓く』、『異文化間介護と多文化共生』、『移民政策へのアプローチ』明石書店、『多文化都市・新宿の創造(単著)』、『命に国境はないー多文化共創の実践者たち Multicultural Synergy in Japan』、『多文化「共創」社会入門』慶應義塾大学出版会、『新しい多文化社会論ー共に拓く共創・協働の時代』東海大学出版部、『多文化共創社会への33の提言』都政新報社ほか多数。



チョウ チョウ ソー
NHK国際放送ビルマ語キャスター・
レストランルビー店主

ビルマ軍事政権の弾圧を逃れ、1991年来日。レストランで働きながら、祖国の民主化を求める運動を続けた。1998年に難民認定。翌年、妻とともに、コミュニティの居場所としてレストランルビーをオープン。NHKビルマ語のキャスターを務める傍ら、祖国の民主化のため活動をしている。在日ミャンマー人向けの日本語教室(Villa Education Center)、在日ミャンマー人の子どもたちに母国の言葉・文化を教える「シュエガンゴの会」を設立。2021年2月1日のクーデター以降は、ミャンマーの民主化を支える運動や物資支援などを実施。



万城目正雄
東海大学教養学部人間環境学科教授。

国際研修協力機構勤務を経て、2016年4月より東海大学に移り、教養学部人間環境学科で教鞭をとる。専門は国際経済、国際労働移動。アジアの労働者送出国の事情と日本の中小製造業や地域社会の問題を研究。現在、政府の審議会等の委員のほか、多文化社会研究会の専務理事兼事務局長も務める。



村元 エリカ マリア
上武大学講師、群馬大学非常勤講師。

早稲田大学大学院国際コミュニケーション研究科にて博士号を取得。国際教育、若者のエンパワーメントをテーマとした研究、執筆、教育活動を精力的に行っている。学術的な研究のほか、自身の日本での経験をともに、子育てや介護に関する重要な情報を外国にルーツがある人たちに提供している。このような活動の影響から、彼女の二人の子供たちも、世界市民として海外で活躍している。



バト デリガル
株式会社トーコン
部長 川崎事業所所長。

中国民族高等学院大学卒業。2007年に大東文化大学大学院経営研究科に留学。2009年に(株)トーコンに入社。トーコンにおいては、初めての外国人の正社員として入社。以後、当社における外国人労働者のモデルケースとして社内研修や業界での外国人労働者の実態等について発信。現在、約90名の社員をとりまとめて、リーダーとして活躍中。



井上 健
アサヒロジスティクス(株)
人財本部採用育グループ
グループ長。

アサヒロジスティクス(株)は、東日本を中心にドライ、チルド、フローズン3温度帯の食品物流のエキスパート企業である。人手不足の状況下、女性ドライバーや外国人労働者を積極的に採用し、ダイバーシティの経営を推進。井上氏はドライバー、運行管理者を経て、現職。人材活用などの実践において業界でもその取り組みを広く発信している。

主催 大東文化大学経営研究所

共催

多文化社会研究会
大東文化大学経営学部・経営学会
大東文化大学経営学研究科 (大学院)